

「クラフト工房 智匠」代表 **春田 智明さん** 42



「工作を通じて心豊かに成長してほしい」と語る春田さん

# ただいま 奮戦中

ツトボトルで作った竹とん 子どもたちに「飛び入り」 設立から5年。「好き  
ぼ、桜の枝で作った鉛筆な で年20回ほど工作を教え  
ど、身近な素材を使った工 者から冷たい視線を浴び  
作を教えている。現在、小 「工作を通じて、モノ  
中学生を中心に会員は約50 作りの楽しさを知ってほ 後のアンケートで「むか  
人。会費は無料だ。 しい」。自分でやり遂げ つく」と書かれたことも。

那珂川町の観音山(1 32才)に年6回出かけ 応じたモノを作らせる。 ういう人も参加できる団体  
る。日帰りハイキングで、 その際、必ず中高生が補 にしよう」と前向きにとら  
保護者や中高生のスタッ 助役になる。「大きい子が えている。

始めた。子どもが真剣に工 作に取り組み姿に打たれ、 本格的な活動開始を決意。  
2001年4月にレクリエ ーションインストラクター の資格を取得、同年5月に 工房を設立した。  
アイススクリームの棒やペ 館、キャンプ場に向いて、 れる」

10年ほど前、福岡市の繁 華街で、若者に絡まれてい 機感を抱いた。ゲームなど 中年男性を助けようとし に興じ、実体験が不足して て、逆に襲われた。「昔は 止めに入ればおさまったの 感した。この体験が活動の に」。身の危険を感じる以 きっかけとなった。  
上に、「悪さ」に歯止めの利 1999年(ろから、家

# 子どもにもモノ作り伝える

「20年は続けたい。ここ で学んだ子どもたちが、将 来、地域の子どもたちに遊 びを伝えてくれば」と願 う。

(那珂川町中原)